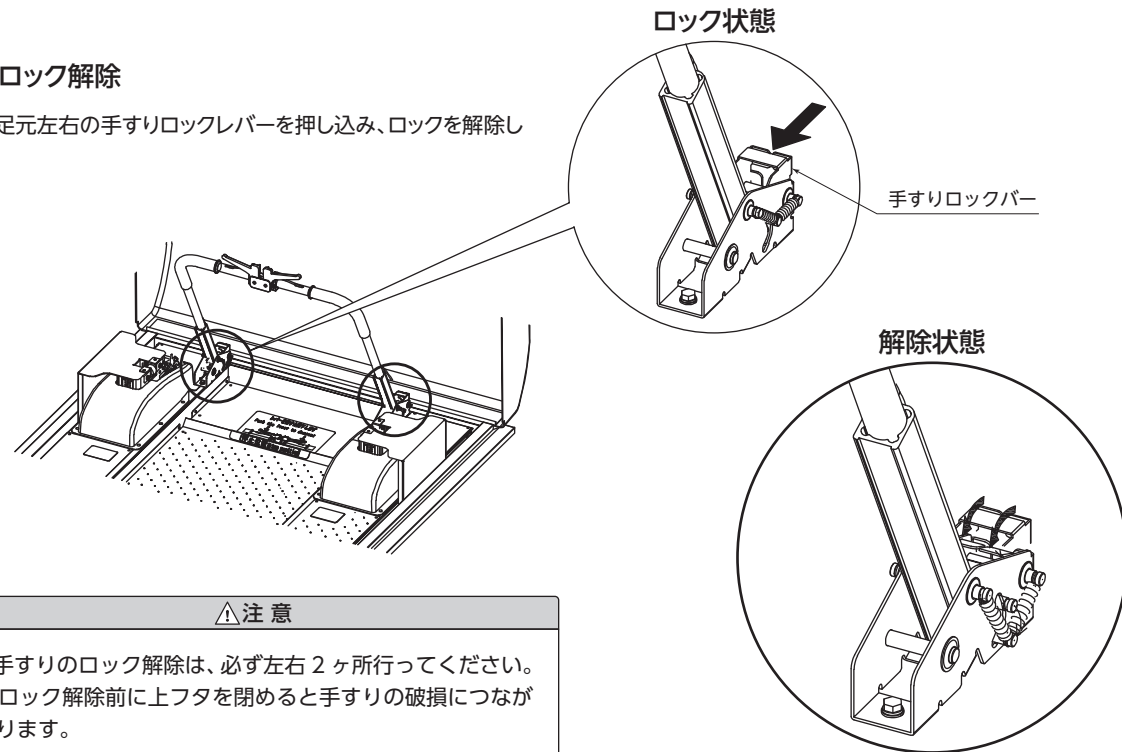


次の使用に備えて、避難機器を手順にしたがって収納してください。

1 手すりロック解除

手すりの足元左右の手すりロックレバーを押し込み、ロックを解除します。

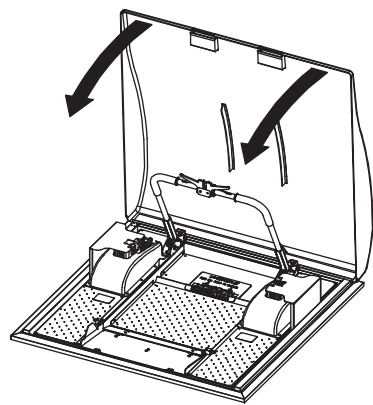


△注意

- ・手すりのロック解除は、必ず左右2ヶ所行ってください。
- ・ロック解除前に上フタを閉めると手すりの破損につながります。

2 収納

上フタ先端の両サイドをつかみ、カチッと音がするまでゆっくりと閉めてください。手すりは同時に収納されます。

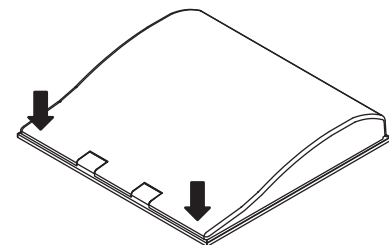


△注意

途中で戻すと手すりのロックが再度係止します。その場合 **1** 手すりロック解除の工程より再び始めてください。無理やり閉めると手すり破損の原因となります。

3 両サイドのロックに係止めされているか確認

フタの両サイドを押して浮きがないか確認してください。



△注意

ロックが不十分だと風等で自然に開放することがあります。

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

ナカ工業株式会社 URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノタタル株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>

●商品改良のため、記載内容については予告なしに変更することがありますのでご了承ください。●無断転載を禁じます。



携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。

降下型避難機器

UD エスケープ With®

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表記の例

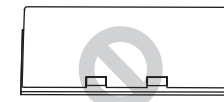
- ⚠ △ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
- ⊘ ○ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- ❗ ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

注意事項について

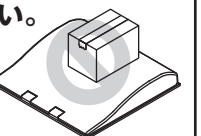
⚠ 警告

避難時以外はフタを開けないでください。

訓練や保守点検、定期点検以外はむやみにフタを開けないでください。

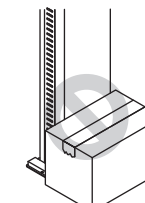


フタの上に物を置かないでください。



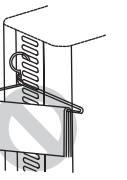
避難機器の下部に、障害物となる物がないようにしてください。

ケースの下方に障害物があると、使用できません。



分解や改造をしないでください。

本製品を分解・改造しないでください。正常に動かなくなります。



避難以外の用途に使わないでください。

本装置は避難機器として設計されています。物を掛けたりしないでください。

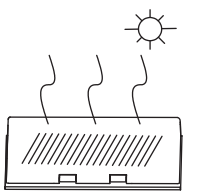
上フタの上に乗らないでください。

フタの上はぬれると滑りやすくなり危険です。



直射日光により熱くなったフタに直接素足で乗ったり、素手でさわらないよう注意してください。

長い時間直射日光に当たっていると、フタが加熱する場合があります。熱くなったフタには直接触れないよう注意してください。



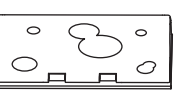
つまづかないよう注意してください。

フタと床には段差があります。つまづくとケガをするおそれがあります。特に夜など暗い時は充分注意してください。



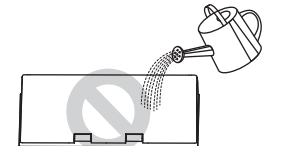
壁面洗浄剤の付着に注意してください。

酸性の壁面洗浄剤が付着すると、変色・錆びの原因になります。付着しないよう注意してください。付着した場合は充分な洗浄が必要です。



避難機器への散水は行わないでください。

UDエスケープWithは機器本体に水が溜まらないように階下に水が抜ける構造になっていますが、ベランダの清掃時や植物への水やりの際には、避難機器周辺に水をかけないよう注意してください。



適用車いすについて

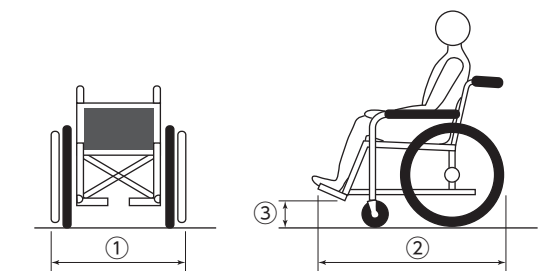
⚠ 注意

車いすの寸法を確認してください。

電動車いす、座位変換形車いす(リクライニング、ディルト)は乗降できません。

次の寸法を満たしていることを確認してください。車いすの形状によっては、乗降できない場合があります。

- ①車いす全幅：700mm以下
- ②車いす全長：1200mm以下
- ③フットサポート高：50mm以上



日頃の管理について

！お願い

この資料は、管理事務所管理人、入居者の方に渡してください。

避難機器は年2回の点検が法令により義務付けられています。本製品も同様に点検するようおすすめします。

定期的に清掃してください。

UDエスケープWithの機体は錆びにくいステンレス製ですが、汚れた状態で放置しておくと錆びることがあります。定期的に清掃してください。

地震発生時(震度5程度)について

地震発生後、避難機器に右記の動作について問題がないか確認をおこなってください。

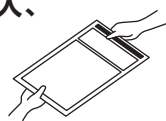
避難経路、避難機器の位置、使い方を日頃からよく確認してください。

いざと言う時にスムーズに避難できるように、日ごろから避難経路と避難機器の位置、使い方を確認してください。

鳥のフンや金属粉が付着したら清掃してください。

鳥のフンや金属粉の付着により、ハッチの機体が錆びることがあります。付着した場合は速やかに洗浄してください。

・上フタの開放、および収納について
・昇降架台の降下、および上昇について

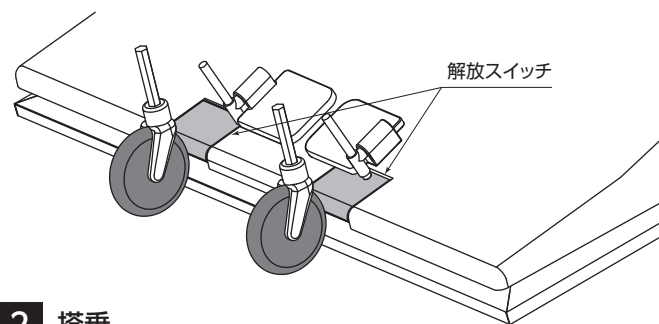


使用方法

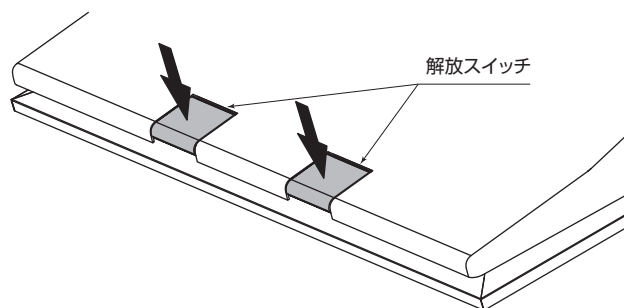
万が一のためには、日頃の心構えが大切です。訓練時にひとつひとつの動作を確認し、使用方法を理解しておいてください。

1 上フタの解放

解放スイッチを前輪で左右同時に押し込んでください。



車いす使用者でない場合は、両手足等で解放スイッチを左右同時に押し込んでください。



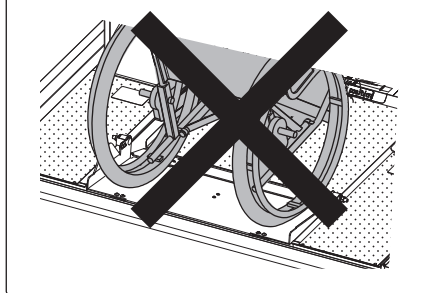
2 搭乗

2-1 搭乗位置

・1人での使用 架台に搭乗し、停止位置まで前進します。

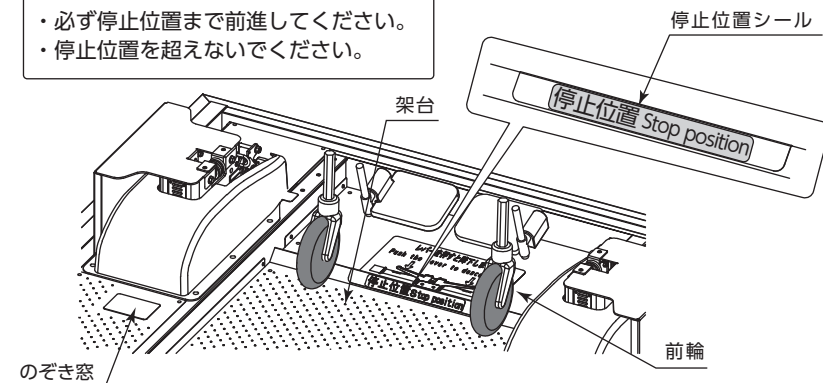
△注意

必ず停止位置まで前進してください。

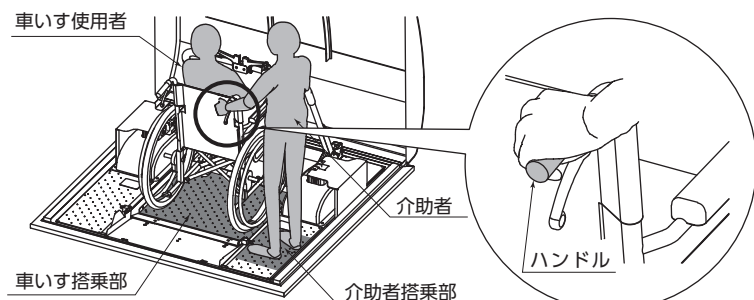


△注意

・必ず停止位置まで前進してください。
・停止位置を超えないでください。



・2人での使用 車いす使用者は、所定の位置に架台に搭乗し、停止位置まで前進します。介助者は車いす使用者の横に立ちます。



△注意

車いすの前輪は停止位置を超えないでください。介助者は、手すり代わりにして車いすのハンドルを握ってください。

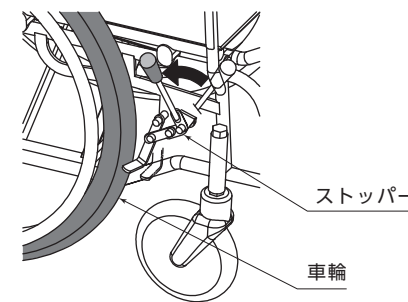
使用方法

2-2 車輪のロック

左右の車いすの車輪ストッパーをロックします。

△注意

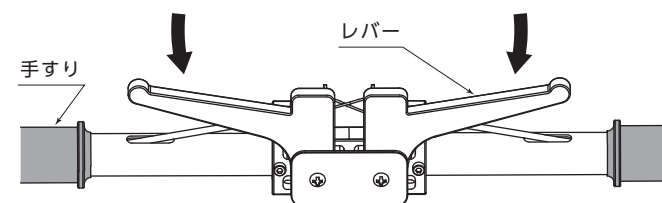
落下・転倒防止のため、必ずロックするようにしてください。



3 降下開始

レバーを押して降下します。

レバーは片側を押すだけでも連動し、ロックが解除されます。

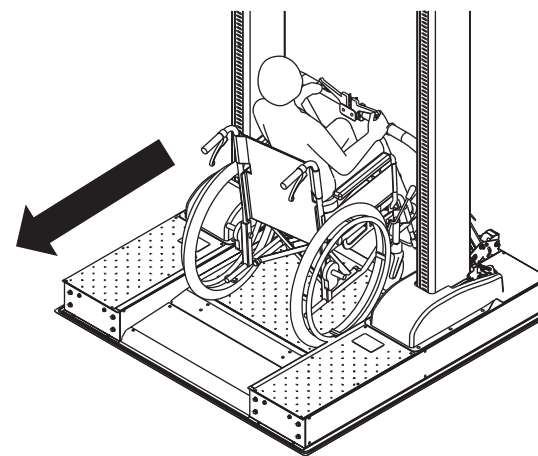


△注意

・降下時は必ず手すりをつかみ、のぞき窓から階下を確認してください。
・着地するまで暴れる等の行為はしないでください。

4 降機

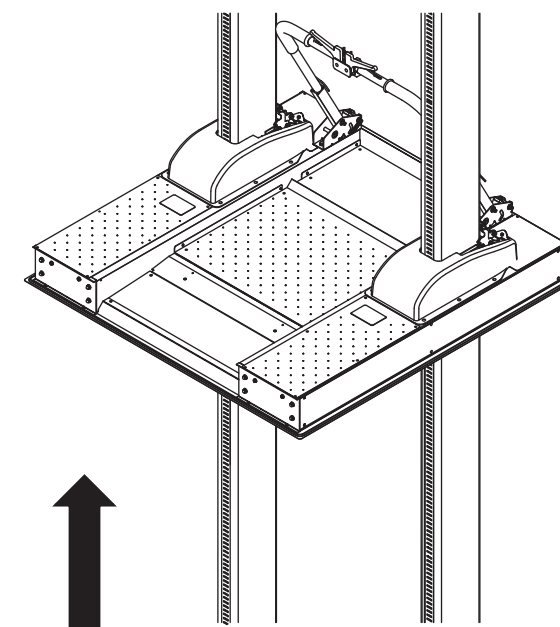
最下部に到達したら、すみやかに昇降台から降りてください。次の避難者を迎えに元の階に上昇します。



着地後に後方へゆっくり下がってください。

△注意

・避難者が乗っている間は昇降台が上昇することはありません。焦らずゆっくりと降りてください。
・架台はスロープを設けてありますが、わずかな段差があります。後方へ転倒しない様に充分注意してください。



荷重が無くなると機器だけ上昇します。

△注意

途中で手で止めないでください。正常にロックしなくなる場合があります。